

深沓 フミダワラ

わら沓は、長靴に似た「深沓」もあり、豪雪地帯に住む人がよく利用しました。フミダワラは、雪をふみ固めて道をつくる時に使います。

あたたかい長ぐつ 深沓

わら沓の中に雪が入ると、中でとけて足を冷やし、歩きにくくします。すねまでの高さを持つ深沓は、雪深い地方に、なくてはならない大切なきものでした。つくりは、ぞうりやわらじと比較すると複雑で、製作には、より高度な技術を要しました。美しくじょうぶに編まれた深沓は、2、3年使われるものもありました。



「シチベイスンペイ」とよばれたわら沓。前ページで解説した「はばき」のように、すねに密着させるための長い縄がついています。前方は、しめ具合を調整できるようにしています。底にスギの板を入れたり、すき間にハカマ（7ページで解説）を詰めたりすることもありました。



しっかりと底がつけられ、甲の部分は、あつく編まれています。高さはひざ下まであり、上部は布をぬいつけて、ほどけにくくしています。



わらの手袋

手袋は、毛糸で編んだものや、革製のものが主流と思われるがちですが、わらでも作られていました。これは親指と、ほかの指を入れるところに分けて編まれています。



『風俗画報』（明治時代）。二人とも深沓をはいて、雪かきをしています。

深沓作り

深沓を作る人は、今、激減しています。作り方が伝承されていくことが望めます。



わら細工は、基本的に底の部分から作っていきます。深沓も同様で、各部分ごとに編み方を変えていくなど、根気のいる作業が続きます。

みんなで 雪をふみかためて 道づくり

フミダワラ

豪雪地帯では、一晩におとなの腰ぐらゐまで雪が降ることがあります。フミダワラは、そうした大雪が降ったあとに、雪をふみ固めて、雪の上に道をつくるためにはく、円筒型の大きなわら沓です。雪をふんだあと、引き上げるための縄がついています。



『風俗画報』（明治時代）。雪深い地方では、前の晩に大雪が降った翌朝、子どもたちもフミダワラなどを使って、雪ふみを手伝うことがよくありました。

ぞうり作り体験

神奈川県かながわけんの「川崎市立日本民家園かわさきしりつにほんみんかえん」には、たくさんの古民家こみんかが移築、復元ふくげんされています。園では、「民具製作技術保存会みんぐせいさくぎじゆつほぞんかい」のわら細工グループかつどうが活動しています。今では、わら製品せいひんを作る人が少なくなりました。グループ員たちは、日本のすぐれた手仕事てしごとがとだえないように、技術ぎじゆつを学び、次世代へと伝えていくために、毎週のように園に集まり、わらを材料ざいりようとした、さまざまな道具どうぐを公開製作こうかいせいさくしてい

1 ぞうり作りに不要な部分(ハカマ)を、手で取りのぞく

各参加者かくさんかしやは、グループの人たちに教わりながら、ひとり1足ずつぞうりを作ります。まず、ぞうり作りに必要なわらを分けてもらおうと、「わらすぐり」をします。これは、「ハカマ」とよばれる、わらの不要な葉を取りのぞく作業さぎょうです。穂先ほさきの方を片方の手に持ち、もう片方の手の指先ゆびさきを曲げて、ひっかくようにするとよく取れます。



ます。こうした活動の一環として、一般の希望者いっぱんきぼうしやを集めた「ぞうり作り体験たいけん」が行われました。わらから、どのようにしてぞうりができていくのでしょうか。

材料 <small>そざう</small>	・わら	約 80 ～ 100 本 (2 にぎり)
	・布 (木綿)	古いゆかたなどの端切れ
	・糸	30cm くらい
	・はさみ	ひとつ



2 霧吹きでわらをしめらせながら、わら打ちをする

ハカマを取りのぞいたわらは、「すぐりわら」といいます。これをたたく「わら打ち」に入る前に、霧吹ききりふを使って全体をしめらせておきます。水分をあたえると、わらはやわらかくなり、作業がしやすくなるのです。しめらせたわらは、わら打ち台うだいにのせて、「ヨコヅチ」とよばれるわら打ち用の棒で、はじめはじめて、均等にたたいていきます。



この日用ようい意いされたわら打ちの道具どうぐ
たたく道具どうぐは、専用に作られた木の棒ぼうです。金づち型かながたの木づちつかを使うところもあります。台も、石などを使うところがあります。

3 ぞうり編みに入る前にも、わらを霧吹きでしめらせておく

わら打ちが終わったら、霧吹ききりふを使って、またしめさせます。この日は晴天なので、わらはすぐかわきます。このあとの作業でも、わらがかわいたら適度てきどにしめらせて、手仕事てしごとをやりやすくしました。



これを使って
ぞうり編みをするんだ！



わらをたたくと、繊維せんいがほぐれてやわらかくなり、細工がしやすくなります。また、引っぱりに強くなり、切れにくくなります。